

授業科目	観光経営管理特講 Tourism Management			担当教員	板垣 朝之		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>テーマ：観光立国が叫ばれる中での観光業のあり方とインバウンド観光の現状、今後の展望 目標：観光立国推進が国家目標となった環境下、観光関連産業が如何にあるべきかを考え方向性の検証を行う。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	観光業とは広い産業範囲を包含するが、国家目標の中で産業が果たすべき役割について関心を持ち、具体的な行動指針を考える事が出来る。			・課題レポート ・授業、討議への参画		20% 10%	
思考・判断	私企業の利潤追求目標と文化の発信体としての存続両立の限界と可能性に関し考察し、方向性を検証出来る。			・定期試験 ・授業、討議への参画		20% 10%	
技能・表現	文献、資料等を収集、検証し、仮説を構築し、検証、方向性の確認、可能な展開等を論理的に説明出来る。			・課題レポート		20%	
知識・理解	行政の組織的能力を理解し、私企業と連携して観光立国への協業を行う道筋建てや資金の獲得、運用を理解できる。			・課題レポート ・授業、討議への参画		10% 10%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業での議論への参画度、課題レポート内容を重視する。							
授業の概要							
授業は主に討議から方向性を確認し、仮説の構築、仮説の検証、レポートといった内容で、未だ答えの見えない事柄について検証を深めて行く事になる。社外人材を交えた討議や、フィールドワークとしての企業訪問や現場視察等も必要に応じて実施する。							
教科書・参考書							
教科書：特に定めない。必要に応じ講義時にプリント、レジュメ等を配布する。 参考書：デービッド・アトキンソン『新・観光立国論』 東洋経済新報社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本の短い観光史の中で、今時代は大きな転換期にさしかかっている。旅行業は「旅行代理店」という範疇を脱し、グローバルな産業レベルに到達しなければならないであろうし、また観光産業全体も時代の要請に応じて変貌を遂げなければならない。どの様に？という問題意識を常に意識してほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	観光と観光産業再考 (1)	私企業が利潤追求の命題を超えて文化の発信体となる事の可能性に関し討議を通じ考察する。	予習：日本の観光現状把握 復習：産業毎の問題点把握
2	観光と観光産業再考 (2)	日本のインバウンドの現状から、「観光立国」の現実を参考書「新・観光立国論」の輪読を通じて検証する。	予習：インバウンドの現状把握 復習：インバウンドの実態整理
3	旅行業の現状把握 (1)	参考書「新・観光立国論」の輪読を通じて戦後日本の高度成長と旅行業発展の過程を検証する。	予習：戦後日本の旅行業史の再確認 復習：問題点の確認
4	旅行業の現状把握 (2)	参考書「新・観光立国論」の輪読を通じてマスツーリズムの時代と旅行業の変遷を検証する。	予習：日本の旅行大衆化の流れの確認 復習：昭和という時代の再確認
5	旅行業の現状把握 (3)	参考書「新・観光立国論」の輪読を通じて日本の観光業の現状を考察する。	予習：アウトバウンド物量変化の再確認 復習：今後方向性の予測
6	旅行業と IT 化の波 (1)	WEB 化の進展によって旅行業はどう変化してきたのか、または変化しきれていないのかを討議検証する。	予習：ダイナミックパッケージ商品の理解 復習：WEB による旅行購入の実体験
7	旅行業と IT 化の波 (2)	WEB との融合による今後の旅行業態転換への可能性を探る。	予習：WEB 販売全体像の把握 復習：WEB による物販と旅行商品販売の再考
8	サービス産業としての観光業 (1)	無形財としてのサービス提供を生業とする事について討議を通じ再考察する。	予習：サービス業の再確認 復習：サービス業のポイント整理
9	サービス産業としての観光業 (2)	サービス産業の基幹としての人材論のあり方を討議により考察する。	予習：サービス業で求められる人材とは 復習：人材の育成と就職
10	サービス産業における人材育成を考える (1)	サービス産業で働く人材を如何に育成するか、その方法論と方向性を討議考察する (第1回)。	予習：求められる人材像の確認 復習：具体的教育法へ仮説
11	サービス産業における人材育成を考える (2)	サービス産業で働く人材を如何に育成するか、その方法論と方向性を討議考察する (第2回)。	予習：求められる人材像の確認 復習：具体的教育法へ仮説
12	「おもてなし」の考察 (1)	参考書「新・観光立国論」の輪読を通じて「おもてなしは観光の売り物になるのか」について討議を通じて考察する。	予習：おもてなしについて再考する 復習：おもてなしのあり方の再考
13	「おもてなし」の考察 (2)	参考書「新・観光立国論」の輪読を通じて「おもてなし」とインバウンド観光について討議を通じて考察する。	予習：日本食を特徴付けるのは何かの再考 復習：日本食の商品価値の再考
14	観光素材として文化をどう商品化するのか	文化の商品化とインバウンド観光のあり方を、外国人目線で考えるという観点から、討議、再考察する。	予習：インバウンドの魅力の再確認 復習：文化の商品化の限界について再考
15	まとめ	全体を振り返り今後の展望を考察する。	授業全体についての整理・復習